

年頭のご挨拶

在フィリピン日本国大使
遠藤 和也



マニラ日本人会 会員の皆様

新年明けましておめでとうございます。
謹んで新春のお祝いを申し上げます。

マニラ日本人会には、平素より在フィリピン日本大使館の活動に格別のご支援、ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

日本とフィリピンは、両国国民の友情と共通の価値観に支えられ、近年「黄金時代」とも称される強固な関係を築いてきました。本年戦後80周年を迎え、両国の友好・協力関係は経済や安全保障、人的交流、文化など幅広く裾野を広げ、日比関係の新たな時代の到来を感じさせるものとなっています。

一昨年には日比首脳間の3回にわたる往来を通じて二国間関係を一層発展させていくことを確認し、昨年4月には初めての日米比三ヶ国の首脳会合を開催しました。また昨年7月、上川外務大臣（当時）と木原防衛大臣（当時）がフィリピンを訪問して第二回日比外務・防衛閣僚会合を行い、日比部隊間協力円滑化協定（RAA）に署名し、昨年11月には、岩屋外務大臣とマナロ外務大臣の会談で、来年の日比国交正常化70周年に向けて様々な分野での協力を更に深化させていくことを確認しました。政府開発援助（ODA）や政府安全保障能力強化支援（OSA）等を通じた具体的協力も引き続き進んでいます。今や日本とフィリピンの関係は、「黄金時代」から新たな高みへと発展を遂げようとしています。

改めて申し上げるまでもなく、日比関係の発展には、民間企業や文化交流、そして留学生を含む幅広い人的交流が極めて大きな

役割を果たしてきました。また、それなくして今日の日比関係の発展はあり得ませんでした。

在留邦人の皆様がそれぞれの分野・地域で活躍される中で、ここフィリピンにおいて日本人同士の親睦と交流を促進してこられた日本人会の存在は、日本人社会の大変大きな支えになってきました。日本人会の活動は、在留邦人の皆様に活力を与え、ひいては日比関係の発展にも寄与するものです。

マニラ日本人会が引き続き様々なイベントを通じて、在住の日本人コミュニティの結束を一層強化し、日本人社会の安心や親睦のより所となっていくことを願っており、私自身も日本人会の活動に貢献して参りたいと考えます。また、来年の国交正常化70周年も念頭に両国関係を更に盛り上げるべく共に努力していければと思います。

大使館の最も重要な任務は、フィリピンにいらっしゃる日本人の皆様の安全・安心・健康・発展のために貢献することです。お困りのことがあれば、何なりとお気軽にご相談頂ければ幸いです。

最後に、マニラ日本人会の益々のご発展、会員の皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。